



発行日 令和7年3月10日
 発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)
 発行責任者 吉岡 望
 連絡先 大山崎町歴史資料館内
 TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289
 URL <https://www.kyoto-ofg.org/>



**令和7年度 ふるさと案内人
養成講座開講に向けて**



令和6年度養成講座準備委員会
 委員長 森脇 剛
 大山崎ふるさとガイドの会(以下、OFGと云う)も、来年度には30周年を迎えるという歴史と実績のあるボランティアガイドの会に成長してきています。先人達のたゆまぬ努力の積み重ねが、今の素晴らしいガイドの会の礎に

なっていると思います。しかし、数年前からのコロナなどの流行性疾患や社会情勢が大きく変化し、ガイド人数などは激減しています。OFGも会員の減少と高齢化に歯止めがかからず、来年度は会発足後未だなかった40人を切るのではないかと危惧されています。

そういう厳しい現況を踏まえて、養成講座準備委員会(各班選出委員・三役・事業学習担当)は毎月委員会を開催し、多くの受講者を迎えられるよう令和7年度養成講座開講に向けて準備を重ねてきました。例えば、新規チラシ作成はもちろんのこと、OFGの現状と展望を探る目的の天王山登山ガイド可能者調査や10期生会員に受講体験や意見を尋ね、講座内容の見直しや改善を行う目的のアンケートなども行って検討してきました。

過去の養成講座の歴史も調べ、第10回養成講座を総括して第11回養成講座は、前回の養成講座を踏襲

してさらに受講しやすいように発展させることを基本方針として実施します。生涯学習課、企画財政課や歴史資料館館長との打合せ折衝を重ね、11月に大山崎町へ養成講座補助金申請書を提出し、「広報おおやまぎ」3月号掲載にもごぎつきました。今後は、近隣市町も含め、各所にチラシ配布など積極的に広報活動をしてまいります。

令和7年度第11回養成講座について、前回と比較しながら変更点を説明いたします。

- ① 座学中心から現地学習に力を入れます。
- ② 申込方法:二次元コードより、スマホからも申込ができるようにし、FAXや郵送、持参も可とします。
- ③ 開催場所:公民館建替えや受講者の便などの理由により、大山崎ふるさとセンター3Fホールのみとします。
- ④ 講義時間:13:15~16:15。15分間延長して連絡事項その他の時間にあてます。
- ⑤ 5月15日~12月25日まで、前回と同様8月を除く毎月1回、計7回開催します。
- ⑥ 会場がふるさとセンター3Fホールで広いため、既会員も養成講座を聴講できます。

最後に、冒頭でも述べました通り今回の養成講座はOFGの浮沈がかかる重要なものであり、是非とも成功させなければなりません。そのためにはまず養成講座を1人でも多く受講していただけるよう既会員が、近所の人をはじめお友達やサークル仲間など積極的にお声がけ勧誘をお願いいたします。

1月~2月の活動実績	活動予定
<p>1. 主なガイド ・JTBガイアレック会 19名</p> <p>2. 会の行事など ・1月23日(木)新春の集い 38名 ・1月30日(木)子供向けガイド学習会 29名 ・2月17日(月)あちこち学習山歩83 天王山~水無瀬の滝 12名 ・2月23日(日・祝)OFG歴史講演会 66名</p> <p style="text-align: center;">活動予定</p> <p>1. 主なガイド予定 ・3月7日(金)阪急交通社「たびコト塾」同行ガイド 2班 ・3月7日(金)阪急交通社「たびコト塾」出前ガイド 2班 ・3月9日(日)NPO吹田歴史文化まちづくり協会 3班</p>	<p>・3月15日(土)ミニガイド 2班 ・3月28日(金)おにぎりの会 1班 ・3月28日(金)レイカディア大学フォトウォーク部 1班 ・3月29日(土)水辺の散策 全班 ・5月17日(土)春の天王山ウォーキング 全班</p> <p>2. 行事予定 ・3月5日(水)乙訓ボランティアガイド研修交流会 ・4月17日(木)令和7年度定期総会 ・5月15日(木)第11回ふるさと案内人養成講座 開講</p> <p>○大山崎町歴史資料館 小企画展 3月18日(火)~4月29日(火)「淀川沿岸を描いた古絵図」</p> <p>○アサヒグループ大山崎山荘美術館 4月19日(土)~7月6日(日) つながる民藝 縁ぐるり 山本爲三郎コレクションより</p>

1-2月 ガイド実績

	一般ガイド		主催ガイド		歴史資料館		出前ガイド		定点ガイド		合計	
1-2月	1件	19人	0件	0人	61件	127人	0件	0人	0件	0人	62件	146人
6年度累計	35件	575人	4件	183人	341件	678人	2件	108人	631件	2211人	1013件	3755人

学習発表会

12月19日(木)、恒例の学習会があった。各班がテーマを決め、発表をした。

- 1班 発掘調査報告書から見た阪急大山崎駅周辺
～古代と中世を中心として～
- 2班 「応仁・文明の乱」大山崎の出来事
- 3班 大山崎町 字の由来・伝承
～大山崎町ファンタジーツアーへようこそ～
- 4班 宝積寺 その歴史ポイント

私の所属する1班では、阪急大山崎駅周辺発掘調査報告書を読み込んで、発掘現場を地図上に落とし込み、現在の写真風景と当時の様子を想像してみた。その結果、行基の奈良時代から油商人活躍の中世に至るまで山陽道(西国街道)に沿って重層的に遺跡があり、繁栄が継続していたことを改めて感じた。

奈良時代寺院の文字瓦、平安時代の色鮮やかな緑

釉灰釉陶器、室町時代の根柵(ねかせ)遺構と大きな備前焼埋甕などの出土品がその主役が仏教寺院、平安貴族、油を商う神人と変遷していることを示していた。それぞれの時代を代表するようなものが狭い範囲で出土していることは全国的に見ても珍しいことであり、郷土の誇りでもある。

山崎院伽藍跡や国府建物跡などの重要遺跡は、発掘調査の空白部分(主に鉄道用地)にあると思われ、また、同時代近隣の瓦窯跡との関連を示す出土記録もないことなどまだまだ謎が多いことを感ぜざるを得なかった。

(1班 村中厚司 記)



～わたしのふるさと～

私のふるさとは、福井県越前市です。こう書くと日本海側の海沿いで育ったのですか?と質問されますが、平成の大合併で越前和紙の里がある今立町との合併により「武生市」から「越前市」になりました。

越前市は、越前蕎麦、越前打刃物、菊人形、紫式部公園など色々有名ですが、私が子供の頃は雪がとてもしや降りました。屋根の雪下ろしをした雪でかまくらを作り、中でお餅を焼いて遊んだり、学校ではスキーの授業もありました。昭和56年が私の成人式だったのですが、年末から降り出した大雪で成人式が3月の春分の日に延期になったほどです。

また武生は、絵本作家として著名な「いわさきちひろ」の生誕の地でもあります。「安曇野ちひろ美術館」や「ちひろ美術館・東京」が有名なので、いわさきちひろが武生出身だとご存じの方は少ないのではないのでしょうか。北陸新幹線ができ、敦賀から越前武生駅まで10分の為に乗換しなければなりません、北陸にお越しの際は是非お立ち寄りください。

(1班 北畑 由美 記)



ちひろの生まれた家

山間の田んぼに囲まれた小さな小学校。静かな木造校舎の窓ガラスが突然ビリビリビリーッと鳴り響くと同時に大きく揺れます。全員が校庭に飛び出し西の小さい山を眺めにかかりますと頂きにきれいなキノコ雲が現れ勢いよく空高く伸びて行き、やがて勢いを失ったキノコ雲は風に流され空一面に灰色に変えてしまいます、真昼間の校庭が暗闇に変わりやがて空から火山灰が、酷い時には軽石が落ちてきます。降灰のため傘をさして登校したこともあります。ここまで書けば皆さんおおよその見当がつくのではないのでしょうか。

「私の故郷」は桜島のある鹿児島です。

鹿児島県人の特徴と言えば何といっても鹿児島弁と訛りでしょう、私も訛りが酷いらしく OFG ガイドで「関西の方じゃないですね」「お国はどちらですか?」と聞かれます。関西での生活が50年を超えても、なお訛りが残るのは余っぽど鹿児島愛が強いのでしょうか。鹿児島弁で一言挨拶してみます。

「OFGのみんなさあ、めえひにち、いっべきばいやんせを、自分の為やっど」(OFGの皆様、毎日、力いっぱい、頑張ってください、自分の為ですよ)

(3班 加藤良一 記)



桜島遠望

OFG あちこち学習山歩 81 平安宮探訪

2024年12月9日(月)参加者17名。

出発点は丸太町御前通バス停からでした。丸太町通から一本南通りを東に行くと豊楽院跡です。国家的行事や饗宴の場でした。道路を跨いで南北の広い敷地が整備保存されています。大山崎瓦窯で造った瓦が発掘された所です。

次に千本丸太町の交差点に出ました。ここは平安宮の中心で北側は大極殿、南側に朝堂院があり平安時代は政治の中心地でした。その姿を想像しながら千本通を南下し朱雀門跡付近から東に行き二条児童公園で休憩した後、北上して内裏跡です。内裏は天皇や妃たちの住む宮殿です。外郭築地で区画され雅な宮廷生活の場だったと各所に説明板があります。大河ドラマ「光る君へ」では藤原道長や公卿の会議や十二単衣の女房達の談笑場面、更に紫式部の「源氏物語」執筆場面などが度々登場しました。

千本丸太町の交差点に戻り、大極殿碑前で集合写真を撮影しました。最終地点は平安京創生館です。平安京を体感するための展示施設があり、見ごたえのある展示品の中でも圧巻だったのは大河ドラマのオープニング画面にも登場する「平安京復元模型」です。創生館のボランティアガイドに説明をして頂きました。

今は無き平安宮跡を当時の姿を想像しながら、晩秋の都路を楽しみました。

今回の計画や説明を頂きました4班の高垣真二様ありがとうございました。

(2班 栃尾 勉 記)



大極殿碑前